

労福協たより

2013年2月

第8号
発行責任者
小林 純一

役員視察研修を実施 「富士宮労福協の社会貢献活動を検証！」

2012年10月19日から21日までの3日間労福協役員による視察研修を実施しました。今回は「社会貢献」をテーマに東日本大震災で被災された福島県いわき市を訪問し、被災地の現状と里山再生の実体験を行い、また現在行っているエコキャップ活動のフィードバックとして収集後のどのように再生されていくのかを見学しました。

被災地復興に向けた取組やエコキャップの再生活動により、微力ながら社会に役立っていることが確認でき、社会貢献活動を続けていくための動機づけやこれからの活動のヒントを数多く掴むことができました。

エコキャップ再生工場の様子



里山での森林伐採にチャレンジ



久ノ浜区地区の復興施設にて



詳しくはホームページをご覧ください！

第3回らぽーとフェスタ開催！

2012年11月4日に生活介護事業所らぽーとにて「第3回らぽーとフェスタ」が開催されました。

地元小学生の踊りやアフリカン太鼓のステージイベントをはじめ、実行委員メンバーの飲食や物品販売ブースも数多く出店されました。われら労福協若者の会も参加し、射的とヨーヨー釣りを出店、終日子供たちで長蛇の列となりました。売上金は全額らぽーとへ寄付、らぽーと支援に一役買いました。



森永卓郎さん！元気をいただきました♪

毎年恒例になっています富士地域労福協「福祉とくらしのセミナー」を2012年11月5日に開催しました。今回は経済アナリストの森永卓郎氏を招いて富士ロゼシアターで講演いただきました。「日本の未来を明るくするヒント」をテーマに前半は経済アナリストらしく所得格差や増税について真面目に語り、後半は自身の趣味、思想から明るく元気に！ラテンの乗りで生きていくことを会場に訪れた皆さんに訴えていただきました。森永さん、楽しいお話ありがとうございました。



ラテンで
いきましょう！



市長との懇談会を開催！～行政要望書を提出しました～

2012年12月5日に富士宮市役所にて市長との懇談会を開催し、労福協から富士宮市に対して行政要望書を提出しました。行政側は須藤市長をはじめ商工振興課より3名、労福協からは小林会長以下、役員7名で参加しました。6月より労福協の各会員から要望を募り、寄せられた多くの要望事項から幹事会で10項目にまとめました。当日は要望主旨を労福協役員より説明をして、項目ごと須藤市長より口頭で丁寧な状況説明がありました。

要望の要旨は以下の通りになります。



1. 昨年度の要望事項の振り返りについて
 - (1) 学校施設の安全対策について
 - (2) 道路の安全対策について
2. 富士山世界文化遺産登録について
 - (1) 世界遺産登録に向けた行動計画について
3. 安心・安全な地域づくりについて
 - (1) 市内の防災訓練について
 - (2) 東日本大震災に関わる瓦礫処理の受け入れについて
 - (3) 市内の道路安全対策や渋滞対策について
 - (4) 通学路の安全対策について
4. 各種相談機会の充実と消費教育について
 - (1) 市役所の窓口休日開催について
 - (2) ライフサポートセンターの広報活動支援について
 - (3) 中高校生への消費教育について



***なお、富士宮市からは1月16日で回答書をいただき、詳細はホームページに掲載されています。**

第17回新年の集い ～今年はおろうそく消し大会で盛り上がり～

2013年1月18日に恒例行事になります「労福協新年の集い」がフォレストヒルズで開催されました。労福協会員からは総勢111名が参加され、来賓には富士宮市から須藤市長を招き、祝辞をいただきました。今年も若者の会がゲームを企画し、ろうそく早消し大会を行いました。各テーブルごと代表1名が参加し、タイムを競いました。見事1ケタのタイムを出した方が優勝、賞品をゲットしました。メインイベントの大抽選会も豪華賞品を取り揃え、様々な賞品が当たり、満面の笑みが絶えませんでした。今年はお蛇年！労福協の活動も一皮向けて、もっともっと皆さんの喜ばれる団体として進化していきます。

